

事業所名

しながくどう福岡東(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和 7 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		利用児とご家族の利益を最大限に追及することを目的にお子さんの将来の自立に向けて支援を提供いたします。多角的な視点から科学的根拠に基づく個別型療育を行うとともに、多職種連携でお子さんの総合的な支援を行います。また、インクルージョン支援を目指して園との連携やご家庭での支援の充実も図ります。		
支援方針		施設内だけで完結しない療育の実現を目指し、お子さんやご家族の困り感について多角的にアセスメントを行い、問題解決の方法を検討し、ご家族と話し合いながら実践していきます。園生活やご家庭での生活、地域生活で力を発揮できるよう、お子さんに応じて支援方法を確立するとともに柔軟性のあるかわりを行っていきます。		
営業時間		8 時 30 分から 12 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	安心できる環境づくり、かわりを通してお子さんの心の安定を図ります。身支度や排泄、清潔の場面で必要な援助を行いながら基本的な生活習慣の定着、自立へ繋げていきます。遊びや活動の中で基礎的な力を身につけていきます。ご家庭での生活についても情報共有を行いながら生活リズムを整えることで情緒の安定を図り、また生活への汎化へ繋げていきます。		
	運動・感覚	お子さんの感覚特性に応じた安心できる環境づくりに努めます。感覚が未発達なお子さんに対しては感覚遊びや感覚識別課題を通して感覚統合を目指します。基礎感覚を取り入れた、身体をダイナミックに動かす運動遊びでバランス感覚や姿勢保持など身体の基礎を育みます。手指の巧緻性を高める課題を通して、生活場面や学習場面で必要な道具の操作性を育みます。（作業療法士、理学療法士の指導あり）		
	認知・行動	見る・聴く力・読み書きの基礎となる眼球運動、視知覚、音の弁別、音韻意識、記憶力を育みます。お子さんの発達状況に応じて必要な課題の提供を行います。集中力や注意機能、認知処理能力を高め、園生活での困難さの軽減や学齢期の学習への取り組みへ繋げていきます。お子さんの状況に応じて難易度調整や遊びの中で取り組めるよう工夫を行っていきます。小さな成功体験を積むことで自己効力感も育んでいきます。（作業療法士、言語聴覚士の指導あり）		
	言語コミュニケーション	お子さんが人とかかわって楽しいと感じられるよう遊びの中で対人意識を育みます。指示理解に繋げるため、「わかることば」「わかることば」を増やす課題を行うとともに、お子さんが安心して伝えられる環境づくり、関係づくりを行っていきます。状況に応じた指示理解を促すため、必要に応じて視覚支援を併用します。お子さんの力に応じたことばかけを行い、発信へと繋げていきます。（言語聴覚士の指導あり）		
	人間関係社会性	ごっこ遊びなど役割交代のある遊びを通して会話のルールを学びます。また、ルールのある遊びを通してルール理解や自己コントロールの力を育みます。また、状況や気持ちを言語化して伝えることで状況理解や自分の気持ちの表現を促し、相手の気持ちに触れる機会を提供します。他者とかかわる、協力する、自己主張、自己統制の場面を経験し、小集団場面での成功体験を積むことで、社会性を育みます。		
家族支援		家庭環境やお子さんの特性、発達状況を把握するため、定期的な面談を通じて課題の共有やご家庭で実践しやすいホームプログラムの提案を行います。相談援助を行い、家庭全体で連携しやすいサポート体制を整えます。	移行支援	園や就学先の学校へお子さんのアセスメント結果やこれまでの支援内容について情報提供を行います。
地域支援・地域連携		・関係機関との連携	職員の質の向上	・事業所内研修会 ・カンファレンス ・外部研修会への参加 ・常時職員間での相談サポート体制
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な療育見学 ・保護者参加型イベント ・保護者向け研修会 		